

新人戦 12 地区大会② 団体戦 女子団体県大会出場！

夏休み最後の土日を利用して地区新人戦の団体戦（7人制）が行われ、女子の団体が県大会出場権を獲得しました。

2 R 県柏 3-0 沼南

S 1 花島 6-3

D 1 笹崎岡田 6-2

Q F 県柏 0-3 柏南

S 1 一関 2-6

D 1 花島雨宮 3-4

S 2 笹崎 0-6

D 2 武藤佐藤 2-6

S 3 岡田 0-2



コンソレ S F 県柏 3-2 柏の葉

S 1 花島 6-3

D 1 笹崎岡田 2-6

S 2 雨宮 6 (6) 7

D 2 武藤佐藤 7 (13) 6

S 3 一関 6-3

コンソレ F 県柏 2-3 市立柏

S 1 一関 2-6

D 1 花島雨宮 6-4

S 2 笹崎 6-3

D 2 武藤佐藤 6 (8) 7

S 3 岡田 2-6

トーナメント本戦で柏南に敗れ、コンソレーションにまわりました。ここで2位以上になれば県大会出場の権利を得ることができます。準決勝は柏の葉との対決、ここで勝利しても決勝で敗れると2位決定戦が行われますが同校対決の場合は最初の対決が優先されるルールです。シード順を考えるとどちらが勝っても同校対決の可能性が大きくここで勝ったほうが県大会出場へ大きく前進する対戦でした。S1の花島さんは0-3とリードされた苦しい展開から追い上げ、6-3で勝利、D1の笹崎岡田ペアは敗れ、S3の一関さんは快勝で2勝1敗、この時点でS2の雨宮さんがゲームカウント6-6からのタイブレーク（7点先取）で6-3のマッチポイント、勝負あったかに思われましたがここから柏の葉の選手が驚異的な粘りを見せタイブレーク6-8で敗れてしまい2勝2敗のタイとなり勝負は1年生の武藤佐藤ペアのD2にかかってきました。D2も大接戦となりタイブレークに突入、一時5-2とリードしましたが柏の葉ペアも追い上げ6-6となり2ポイント先取のデュースとなりました。その後お互いのペアにマッチポイントが行きかう展開が続き、（私は応援しながら1980年ウィンブルドン決勝のボルグマッケンローの18-16のタイブレークを思い出してしまいました。）14-13から武藤佐藤ペアのボレーが決まり15-13という壮絶なゲームの末3勝2敗で決勝に進むことができました。敗れた柏の葉の選手はもちろん勝った武藤佐藤ペアも勝った喜びと重圧から解放された気持ちが重なり泣いていました。

翌日、市立柏との決勝が行われ、こちらも2勝2敗となり勝負はD2へ、しかもまたタイブレークとなり昨日の再現VTRを見ているような展開となりました。昨日死闘を演じた柏の葉の選手のためにも何とか勝利して同校対決の展開は避けたかったのですが、カウント8-9から相手の渾身のファーストサーブが決まり残念ながら2勝3敗で敗れてしまいました。3決で勝ち上がった柏の葉とは同校対決が

ないため、結局タイブレークの僅か2ポイント差で県柏の県大会出場が決まりました。僅かの差で県大会を逃した柏の葉の選手のためにも県大会ではベストのパフォーマンスが出来るよう練習に励みたいと思います。

県大会は11月4日に県立柏の葉公園で行われます。テニス部OGの皆さん、よろしければ応援に来てください！